

当クラブでは、ここ数年継続的に行われている事業が幾つかあります。一つは「せいせき多摩川花火大会」への協力です。実行委員会に当クラブから会員を出し、花火当日は全会員で運営に参加します。更に、「せいせき多摩川花火寄席」と称した落語会を主催し、売上げを花火大会に寄付しています。

もう一つは「多摩市街美化運動」への協力です。前身である「喫煙マナーアップキャンペーン」の時代から参加してきましたが、より多くの団体が参加し街美化運動として生まれかわり、現在は当クラブの会員が会長を務めています。年に二回ほど多摩市にある鉄道の4駅で、全会員の参加で清掃・啓蒙活動をしてきましたが、組織変更がなされた今、さらなる活動を模索しています。

最後の一つは中学生俳句大会で、これは多摩市内の公立中学校全9校の生徒を対象にしたもので、毎年千をはるかに超える数の作品が集まり、年々レベルも上がってきています。この作品をからまつ俳句会の皆さんにご協力いただき、多摩市長も交えての選考を行い、優秀作を表彰・展示し、更に全ての作品を収めた句集を制作し、応募してくれた生徒全員に配布しています。この俳句大会に参加した生徒達が、日本語や日本文化を見直すことにより、美しい言葉を後世に伝えてくれることを私達は願っています。

蛇足ですが、当クラブは今年の4月に40周年を迎え、記念式典・記念事業を行いました。その中で、多摩市内の全公立中学校9校にAEDの寄贈をしました。その際ロータリー財団の補助をいただいたのですが、そのとき「やり逃げはいかん」との条件をつけられました。その条件を満たすためのAEDの講習会が先日やっと実現いたしましたので、ここに証拠の写真を掲載いたします。



コンサート例会

東京狛江RC クラブ会報・広報担当委員会 松坂 健一

本年度会長のテーマである「ロータリーを楽しみ、クラブの活性化を」にのっとり、又「音楽の街・狛江」にふさわしい様に、例会がミニコンサート会場になり、午後のひとときを優雅な時間が過ぎてゆく、そんな例会を楽しんでいます。昨年から続けているこのミニコンサートには、ピアノによる名曲の演奏、二胡の演奏、バイオリンとバンドネオンによるアルゼンチンタンゴ、尺八と琴による邦楽、シタール演奏によるインド音楽、又、三味線と琴、尺八による邦楽演奏、そしてフルート、バイオリン、ピアノの三重奏、フラメンコギターによる歌と踊り等、普段聞く事が出来ないような演奏を目の前で聞く事が出来るのです。そしてこのコンサート例会の時には、会員の奥様、従業員にも声をかけなるべく多くの人に聞いていただけるようオープンな例会としています。

